

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	高森の道を通してふるさとのよさを再認識する事業
事業主体 (連絡先)	高森町
事業区分	③教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	935,000 円 (うち支援金: 748,000 円)

事業内容

- 1 冊子『高森の道』の刊行
- 2 町民ウォーキング「町あるき」の実施
- 3 特別展「高森の道～今、残したいふるさとの景観～」
- 4 時の駅講座（講演会）の実施



【町あるき①】
【目標・ねらい】

事業効果

- ①冊子『高森の道』の刊行
 - A4横書き2段組み 97頁 500部
 - 3月19日納品
- ②町民ウォーキング「町あるき」の実施
 - 第1回 6月13日(日) 参加者33人 下市田の古道
 - 第2回 10月23日(土) 参加者15人 大島山～吉田の古道

「ふだん通っている所に、こんな文化財(石仏など)があるとは知らなかった。」という声をよく聞いた。
- ③特別展「高森の道～今、残したいふるさとの景観～」
 - 11月2日～12月12日 見学者743人

「道の風景としてあらためて見ると、いいところがたくさんあることがわかりました。」「地図を手に、地元の旧街道を歩いてみたくなりました。」という感想が多かった。

高森の道について調査したことをまとめた冊子の刊行をめざし、それに関わるいくつかの活動やイベントを行うことを通して、ふるさとのよさを再認識する。

※自己評価【A】

【理由】
町民ウォーキングの「町あるき」に多くの人に参加してくれたら、資料館の特別展を多くの方が見学してくれた。そして、道の風景を見て「高森町にはいいところがたくさんある」と思ったり、実際に高森の道を歩いて「こんなところにこんな文化財があるとは知らなかった。」と驚くなどふるさと高森のよさを再認識してくれた人が多かったと考える。

今後の取り組み

小中学校にそれぞれ1学級分くらい(計150部)寄贈し、各校の遠足やふるさと学習で毎年使ってもらう。資料館で毎年行っている学校との連絡会「資料館活用委員会」において、令和4年度から使い方を話題し、学校側からも意見を聞いて一緒に活用法を考えていく。また毎年1～2回、冊子で取り上げた道について、資料館と公民館の共催で町民ウォーキングを実施する予定(令和4年度はまず4月2日に山吹地区の古道を歩き、桜めぐりを行う)。資料館の調査委員会でもさらに活用の仕方を考えていきたい。これらの活動を継続していくことで、町民のふるさとを大切に作る心がさらに豊かになっていくと考える。